

グループワークテーマ

令和 4 年施行 職員採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

1. 問題は **1 題**です。
2. グループ討議時間は **50 分**です。
3. この冊子は持ち帰ることができます。

問 題

東京都は、高度な都市機能と自然が調和し、人が集い、憩う東京の実現を目指している。あなた達は、東京のベイエリアを舞台に未来の東京を築くため、データや最先端技術を活用した具体的な方策を検討するプロジェクトチームに選ばれた。

東京のベイエリアから日本の未来を創り出すため、どのように取り組んでいくべきか。資料1及び2を参考に、チームで議論し、東京都職員として職場の上司に説明するために必要なポイントをホワイトボードにまとめなさい。

ベイエリアを舞台に未来の東京を築く

- 水辺空間という「自然」に恵まれたベイエリアには、日本を代表する物流ターミナルに加え、商業機能、エンターテインメント、東京2020大会関連施設など**多様な魅力を持つ「臨海副都心」**や、将来的には**約1,000haの広大な土地となる新しい埋立地**といったポテンシャルが存在する。
- 高いポテンシャルを活かし、**このフィールドを舞台にプロジェクトを先行して展開し**、デジタル時代においても「ここにしかない」魅力を求めて人々が集まり、気候危機を乗り越えた持続可能な都市を実現する。
- **持続可能性と経済を両立させた都市モデル**を社会全体で共有し、ともに創り上げていくことにより、**東京の国際的なプレゼンスをさらに高める**とともに、**世界が目指すべき未来の都市像**を発信する。



- 職・住・学・遊の機能や、水に親しめる公園などがバランスよく立地する、ポテンシャルの高い都市
- 東京2020大会関連施設、民間開発による商業施設、ホテル、ホールなど、新たな魅力が創出されている



有明アリーナ
(有明北地区)



東京ビッグサイト
(有明南地区)



お台場の夜景
(台場地区)

- 他に類を見ないポテンシャルを持つ新しい埋立地

出典：東京都「東京ベイeSGプロジェクト（Version 1.0）」（令和3年4月）

資料 2

世界競争力ランキングにおける日本の順位

※ この部分は、著作権の関係により、掲載できません。